

第114回 ほほえみ 開催

9月19日(水)第114回 ほほえみを開催しました。
8名の方が参加してくれ、うち1名の方が初めて参加される方でした。



次回のほほえみは、10/17(水)14時から16時まで
本館3階 特別会議室での開催となります

【がんサロン事務局】

～がん支援センターって～

(がん体験記)

ほほえみの皆さま こんにちは♪

関西では、西日本豪雨の被害やダブル台風の影響が大きく、そちらの北海道の大地震のこと、胸が痛みます。

皆さまには、ご無沙汰していました♪

どうしてるのかな?と、思っていました♪

私は、少し前、こちらで開催の「がんサロン」に参加してみました♪

皆さん、結構、話に盛り上がり、医療従事者も参加していました。

肺がんの術後、3年目の方の体験談に続いて、ワークショップが開催されました。

初めての家族の方もいて、「ほほえみ」の皆さまも、こんな感じなのかと、実は、本音を言うと皆さまの気持ちを体得したかったです。

再び、会う約束をしつつ、会場を後にしました♪

和歌山県では、市民講座が盛んに行われています。

「患者支援センターを知っていますか」というセミナーです。

～病院の中でのやくわりについて、わかりやすくお伝えします～

医師の「講演」と職員による「演劇」と、まるで、劇団〇〇のようですね♪

スタンスは、病気になったら、どんな支援を望みますか?です。

オーダーメイドの治療が問われる中、しかも、がん専門医療人材養成プランとなっていますので、市民としても、期待感でいっぱいです。

遺伝子医療・化学療法・放射線療法と、内服薬などと、がん治療は、数えきれないご本人と家族を中心とした納得の上での治療をうける時代になってきた事を嬉しく思います。

東京都が発案したヘルプマーク、厚生労働省が推奨する働き方改革も、私たちが応援してくれていると信じます。

秋の花、コスモスが風に吹かれ、それぞれの想いが関西から北海道に届くことを願って。

季節が変わり目になり、風邪やそれぞれの治療に支障がありませんように。

そして、北海道の復興・復旧が速やかに成されますよう、心は近く関西より祈っています♪

(和歌山県/女性/胃がん/家族)

